

< 市長部局（教育委員会以外の行政委員会等を含む） >

総務企画部

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)	
1	総行 務政 課室	用紙使用枚数を、昨年度より5%削減する。	A	適正な用紙の使用について関係各課に通知する。 印刷等について相談があった場合、適宜裏紙使用や2アップ印刷を推奨する。	A A		
	総人 務事 課室	時間外勤務を昨年度より20%削減する (人事室昨年度合計3,195時間、 枠配分時間数2,500時間)	C	計画的に業務を進め、毎月の時間外枠配分を達成する。 一斉定時退庁日(ノー残業デー)の徹底。 (やむを得ない場合、同一週内で振替え、100%を目標とする)	C A		毎月の時間外について、枠配分を超過しなかった月が3か月、超過した月が9か月であり、25.0%の達成率であった。 また、一斉定時退庁日については、該当日に定時退庁できない日があったものの、同一週内で振替え等を行ったため、100%達成した。 その他、一斉定時退庁日の強化月間を7、8、10、11、1月と設定し、各所属所に対して一斉定時退庁を促した。
	総情 報 務推 進 課室	情報機器等の消費電力の削減 (端末、周辺機器等、業務影響の少ないものに限る)	B	業務終了時、端末、周辺機器の電源オフを確認する。 ノー残業デーの徹底等により、超過勤務を縮減する。	A B		
2	企画 財政 課	照明及びOA機器の適正使用、用紙使用量の削減	A	必要な場合を除き、照明の午前8時30分以降の点灯及び昼休み・退庁時の消灯を徹底する。 課内最後の退庁者は課内のパソコン及びプリンターの電源が切れていることを確認する。 可能な範囲で両面印刷、裏面利用を行う。	A A B		
3	秘書 広報 課	照明の適正使用	A	必要な場合を除き、始業前、昼休憩及び退庁後は消灯する。 市長及び副市長応接室は使用時のみ点灯する。	A A		
4	契約 管財 課	ウォシュレットトイレの適正使用	A	節電機能がついているものは機能を利用して、使用していない時間は便座と温水ヒーターを「切」にする。	A	・使用が少ない時間帯では、自動で停止する機能が付いており、適正に管理することが出来た。 ・定期的に庁舎内の温度を確認し、適正な温度になるように管理は行ったものの、場所によって温度にばらつきが出てしまうため、継続的な基準温度での管理ができていなかった。 ・今年度、既存の電灯の一部をLEDに変更した。 (庁舎B1階:蛍光灯17カ所→LED21カ所) ・今年度導入した車両は全て低燃費かつ低排出ガス認定車を採用した。	
		空調設備の適正使用	B	空調設備は、夏季28℃、冬季19℃を基準とし適正に使用する。	B		
		照明器具の更新	A	市庁舎において老朽化した照明設備の改修工事や修繕の実施にあわせLED照明に更新する。	A		
		公用車の更新	A	公用車を更新する場合は、低燃費かつ低排出ガス認定車を積極的に導入するものとする。	A		

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
5	課 税 課	照明の適正利用	A	天気の良い日は自然光を活用し、可能な範囲で消灯する。	A	
				時間外勤務時は、必要箇所のみ点灯する。	A	
				勤務終了後の早期退庁を推奨する。	A	
		公用車の適切な運行	A	公用車運転中は、急発進、急加速などはせず、「eスタート」の実践を心がける。	A	
				事前にルート確認を綿密に行い、運行ロス避ける。	A	
				エアコンの使用を控えめにし、車内を冷やしすぎないようにする。	B	
空調設備(冷暖房)の適正利用	A	ブラインドを活用し、空調負荷を低減する工夫を行う。	A			
6	収 税 課	照明の適正使用	A	昼休み時は必要箇所のみ点灯する。	A	
				相談窓口ブースの消灯管理。	A	
				時間外勤務時は必要箇所のみ点灯する。	A	

市民生活部

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
7	市 民 課	適正な電力管理	A	時間外勤務時には、必要な箇所だけ点灯する。	A	
				照明スイッチの横に時間外に消灯すべき箇所を明記する。	B	
				当日中に使用しない機器の電源は速やかに落とす。	A	
8	保 険 年 金 課	紙の廃棄量削減	A	印刷前にはプレビューで確認し、印刷する際は可能な限り、両面、ツアアップ(フォーアップ)等とする。	A	課として改めて紙の廃棄量削減を目標に設定したことで、課員の意識向上につながり、設定した手段以外でも、コピー機に排出した印刷物の持ち去りが減るなど、課全体で目標達成に取り組むことが出来た。
				個人情報に記載されている用紙を除き、片面が白紙のミスプリント等は、課内用印刷やメモ用紙として活用する。	A	
				オンラインで共有できる情報等をプリントアウトしないよう心掛ける。	A	
9	ク リ ー ン 推 進 課	時間外勤務を、昨年度より5%削減する(令和元年度合計1,107時間)	A	ノー残業デーの実施を徹底する。	A	令和2年度時間外勤務時間数:910時間 前年度比17.7%減少
				勤務終了後の早期退庁を奨励する。	A	

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
10	環境課	時間外勤務の適正化	A	ノー残業デーの実施を徹底する。	A	その他、裏紙の使用に積極的に取り組んだ。
				時間外勤務を要するときは、事前命令を順守する。	A	
				勤務時間終了後、時間外勤務命令を受けてないときは、ただちに退庁する。	B	
		電気機器の適正使用	A	始業時間前、昼休み、終業時間後は必要な箇所のみ点灯する。	A	
11	農業振興課	公用車の適切な運行	B	公用車を運転する際、急発進並びに急加速はせず、「eスタート」(最初の5秒間で時速20キロ程度に加速)の実践を心がける。	B	
12	商工振興課	照明の適正使用	B	時間外勤務時は、必要箇所のみ点灯する。	B	天気の良い日の消灯はあまり実施できなかったが、その他の取組みについては、概ね実施できた。
				ノー残業デーの実施を徹底する。	B	
				天気の良い日は自然光を活用し、可能な範囲で消灯する。	C	
13	市民活動推進課	時間外勤務を昨年度より10%削減する (昨年度合計885時間)	A	ノー残業デーの実施を徹底する。	A	
				勤務終了後の早期退庁を奨励する。	A	
14	安全対策課	照明の適正使用	B	時間外勤務時は必要箇所のみ点灯する。	B	12時から13時までの消灯を徹底した。
				照明のスイッチ横に照明箇所を明示する。	B	

健康福祉部

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
15	社会福祉課	電力使用量の削減 (昨年度使用量424,142kWh)	C	空調を夏期は28℃、冬期は19℃を目安に温度設定する。	B	令和2年度の電力使用量は434,784kWh(見込み)であり、昨年度より削減することができなかった。 (令和2年5月から8月までの間、6階大会議室に、特別定額給付金推進本部を設置し、事業実施にあたり恒常的にパソコン等を使用したため、電力使用量が増加したもの。)
				6階大会議室のLED照明を活用し、蛍光灯の電力使用量を削減する。	C	
				面談室や廊下等の照明は、必要な箇所のみ点灯する。	B	

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
16	障がい福祉課	照明の適正使用	B	時間外勤務時は必要箇所のみ点灯する。	B	
				照明スイッチに点灯範囲を明示し、必要な箇所のみ点灯する。	A	
17	こども支援課	時間外勤務を昨年度より5%削減する (令和元年度合計:1,499時間)	D	ノー残業デーの実施に取り組む。	B	取組みは極力行ったが、コロナウイルス感染症に係る業務(給付金の支給等)が増加したため、結果として目標達成することができなかった。
				時間外勤務の管理を徹底する。	B	
18	中央児童センター	照明や空調の適正利用に努める	A	電気点灯の適正利用(不必要な電灯をこまめに消灯する)。	A	設定温度については、節電を職員に周知させるとともに事務所職員が定期的に確認するようにした。施設内のすべての照明器具はLEDになっている。
				照明器具の点検を適宜実施し、照明効率の維持に努める。	A	
				冷暖房の設定温度を適正に管理する。	A	
19	南児童センター	光熱水費を3%削減する	A	空調は室内温度を確認しながら、設定温度の調節を行う。	A	
				扇風機やカーテンを使いながら、室温調整を行う。	B	
				水まきや水遊びには、井戸を使用する。	A	
20	くぬぎ山児童センター	冷暖房を適正に使用する	A	冷暖房の設定温度を夏季は28℃、冬季は19℃を目安に設定する。	B	
				学習室、保育室に緑のカーテンを設置し、空調負荷の低減に努める。	A	
				集会室に遮光ネットを設置する。	A	
21	北中沢児童センター	冷暖房を適正に使用する	B	緑のカーテンを設置し、空調負荷の低減に努める。	A	グリーンカーテンを設置し空調負荷の低減に努めた。 コロナ対策で定期的に換気をし空気を入れ替えたため、空調の設定温度は目安より高めとなる。
				冷暖房の設定温度を夏季は28℃、冬季は19℃を目安とする。	B	
22	栗野児童センター	冷暖房を適正に使用する	B	冷暖房の設定温度を夏季は28℃、冬季は19℃を目安に設定する。	B	緑のカーテンとしてゴーヤを植栽するとともに、ロールカーテンの利用及び遮光シートの設置により保温遮熱に努めた。
				ロールカーテン、遮光シートを活用し、空調負荷の低減に努める。	A	

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
23	こども発達センター	電気使用量1%削減(月17kwh) (昨年使用量20,334kwh) ガソリン使用量1%削減(月0.1L) (昨年度使用量117L)	B	使っていない照明、電化製品のスイッチをこまめに消す。 必要な箇所のみ照明の使用にする。	B	・換気しながらの室温調整をしたため、昨年度より電気使用量が1.15倍に増えた。 ・ガソリンの今年度使用量は庁用車は71・4Lと昨年度の約4割減となっているが、バスについては、1.5倍の5636.3Lとなっている。
				エコ運転に心掛け、急発進急ブレーキは行わない。	A	
				走行時のスピードを一定に保つ。	B	
24	幼児保育課	照明の適正使用	B	天気の良い日は自然光を活用し、可能な範囲で消灯する。	B	
				時間外勤務時は必要箇所のみ点灯する。	B	
25	道野辺保育園	節電に取り組む	D	使用していない部屋の消灯	B	2年度は猛暑とコロナ対策の換気で、エアコンの効きが悪く、設定温度を下げざるをえない状況であった。
				エアコンフィルターのこまめな清掃	B	
				エアコンの設定温度調整	D	
26	南初富保育園	冷暖房を適正に使用する	B	フィルター清掃をこまめに行い、効率の維持に努める。	B	新型コロナウイルス感染予防のため、換気に気を配り冷暖房効率は落ちたように感じられたが、昨年度より、月末現在8600kwの削減をすることができている。
				設定温度の調整したり退室後は電源をこまめに切る。 (カーテンを閉め直射日光を遮断したり、室内の人数等場面に合わせた温度を設定にする。)	B	
27	栗野保育園	冷暖房を適正に使用する	B	冷暖房の設定温度を、夏季は28℃、冬季は19℃を目安に設定する。	B	
				よしずを活用し、空調の負荷の低減に努める。	B	
28	鎌ヶ谷保育園	照明や空調の適正な利用、省エネを意識した行動の推進	B	照明のLED化を進める。	C	LED化はあまり進めることができなかったが今後も続けていきたい。 適正な温度設定は声がけにより職員も意識できていた。
				換気をしつつ適正な温度設定をする。	A	
29	高齢者支援課	照明の適正使用	A	時間外勤務時は必要箇所のみ点灯する。	A	
				照明スイッチに点灯範囲を明示し、必要な箇所のみ点灯する。	A	

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
30	健康増進課	電気機器等の適正使用	A	換気スイッチを適正に利用する。	A	
				勤務終了後の早期退庁を奨励する。	B	
				OA機器のディスプレイの明るさを省電力モードにする。	A	

都市建設部

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
31	都市計画課	時間外勤務を昨年度より3%削減する (令和元年度実績1,587時間)	A	ノー残業デーの実施を徹底する。	A	時間外勤務を57%削減した。(令和2年度実績680時間)
				勤務終了後の早期退庁を奨励する。	A	
32	道路河川整備課	空調負荷の低減	A	ブラインドを活用し、空調負荷を低減する。	A	
33	道路河川管理課	道路照明灯の電気使用量削減 (昨年度使用量666284.1kwh)	A	道路照明灯を全基LED灯に更新する。 (令和元年度に市内道路照明灯の現況調査を実施済)	A	道路照明灯を全基LED灯に更新済み。
34	建築住宅課	市営住宅共用部分全体で電気使用量を平成28年度に比べて2.0%削減する (平成28年度使用量43,554kw)	C	各市営住宅の掲示板に階段灯の適切使用及び各戸の節水等を呼びかける啓発文書を掲示する。	A	取組の実施、共用灯等の経年劣化による修繕時にはLED化に取り組み0.98%削減することができた。 ただし、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う在宅時間の増加により水道使用量が増えたため、目標の達成には至らなかった。
35	下水道課	照明の適正使用	A	昼休みは一斉消灯を行う(業務に支障のない範囲に限る)。	A	
				時間外勤務時は必要箇所のみ点灯する。	A	

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
36	公園緑地課	市制記念公園、手通公園における電気使用量を合計1%削減 (昨年度使用料35,814kwh)	A	照明器具の清掃を定期的に行う。	B	昨年度の使用料に対し、3%の消費電力増となってしまった。 大きな要因として、新型コロナの影響により、環境作業員の分散勤務が始まり、市制記念公園管理事務所に滞在する時間が増えたことで消費電力が増えた。 手通公園については、公園灯7灯のLED化が10月に完了し、10月以降からは前年比45%程度の消費電力削減となった。
				手通公園における公園灯7灯を、LED照明に更新する。	A	

会計課及び行政委員会（教育委員会を除く）

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
37	会計課	照明の適正使用	B	昼休み時は必要箇所のみ点灯する。	A	残業等の時間外勤務においても、必要箇所のみ点灯した。
				天気の良い日は自然光を活用し、可能な範囲で消灯する。	B	
38	選挙管理委員会事務局	電力の適正使用	A	業務の支障がない範囲で昼休みに一斉消灯を行う。	A	業務に支障のない範囲での、電力適正使用に取り組めた。
				時間外勤務時及び休日出勤時の照明を必要最小限の使用とする。	A	
				最終退庁者が、退庁時に所属部署内のOA機器の電源が落とされているか遺漏なく確認する。	A	
39	監査委員事務局	照明の適正使用	A	昼休み及び就業後の消灯の徹底。	A	
40	農業委員会事務局	庁用車のガソリン使用量を昨年度より3%削減する。 (令和元年度ガソリン使用量464L)	A	効率的なルートで回るよう心掛ける。	A	
				用件が複数ある場合は、可能な限りまとめて外出するようにする。	A	
41	議会事務局	照明の適正使用	B	時間外勤務時の照明は、必要最低限にする。	B	議場、委員会室等の使用後は速やかに消灯するとともに、マイクシステム等の電源についても早めにオフにするように努めた
				使用していない部屋、議場、委員会室等は消灯する。	B	
				業務に支障のない範囲で昼休み一斉消灯を行う。	A	

消防本部

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
42	消防総務課	空調機器の適正利用	A	冷暖房の設定温度を夏季は28℃、冬季は19℃を目安に設定する。	A	空調集中リモコンを活用し、適正な温度、稼働時間の管理を徹底することができた。
				空調集中リモコンを活用し、本部庁舎全体の稼働状況の確認と適正な使用を徹底する。	A	
				ウォームビズ及びクールビズの徹底。	A	
43	予防課	照明の適正利用	A	昼休みに事務室の照明を半消灯する。	A	
				照明器具の清掃を定期的に行い、照明効率の維持に努める。	A	
				更衣室等の自動消灯措置がとられていない場所に設置されている照明については、使用後の消灯を徹底する。	A	
44	警防課	照明の適正使用	A	昼休みに事務室の半消灯を行う。	A	
				照明器具の清掃を定期的に行い、照明効率の維持に努める。	A	
				更衣室等の自動消灯措置が取られていない場所に設置されている照明について、使用後の消灯を徹底する。	A	
45	中央消防署	照明の適正使用	A	昼休みに事務室の一斉消灯を行う。	A	
				照明器具の清掃を定期的に行い、照明効率の維持に努める。	B	
				トイレや食堂、仮眠室等に設置されている照明について、使用後の消灯を徹底する。	A	
46	くぬぎ山消防署	照明、冷暖房を適正に使用し電気使用量3%減(昨年度使用量51,051kwh)	A	昼休みに事務室の一斉消灯を行う。	A	新型コロナウイルス対策として庁舎内の換気を実施した中、空調の設定温度(冷房28℃、暖房20℃)と使用を控えた。 太陽光発電量は前年度より210.81kwh(1.88%)増加するとともに、商用電力使用量は前年度より2,519kwh(4.94%)減少し、商用電力使用量は目標の3%減を達成した。
				ブラインドを活用し、空調負荷を低減する。	B	
				中間期は、自然光や外気を積極的に取り入れ、空調の使用を控える。	B	
47	鎌ヶ谷消防署	電気製品の適正利用	B	冷暖房の設定温度を夏季は28℃、冬季は19℃を目安に設定する。	B	・室内の換気のため窓や扉を開放していたので、体調管理のため設定温度をやむを得ず変えることがあったが、概ね設定温度を守ることができた。 ・日中の洗濯物は外干しを徹底し、削減に努めた。 ・使用していない無線機等の充電器のコンセントを外し、待機電力の削減に努めた。
				洗濯物を乾かす場合には、外干しをして、乾燥機の使用は必要最小限にする。	A	
				待機電力を減らすため、使用していない家電製品の主電源を切る(プラグを抜く)。	A	

<教育委員会>

生涯学習部

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
48	教育総務課	電気使用料1%削減	A	小中学校14校の校舎及び体育館等の照明器具のLED化を図る。	B	電気使用料は、令和元年度より6%の削減となった。 令和2年度も引き続き、体育館・トイレ等の改修工事や学校内の修繕により、計画的に照明器具のLED化を進めてきた。 また、小中学校の休校や、部活動の一部中など、新型コロナウイルス感染症拡大による影響もあった。
49	学校教育課	庁用車のガソリン使用量を昨年度より2%削減する。 (令和元年度一月当たりのガソリン使用量85.66L)	A	公用車運転中は、急発進、急加速などはせず、「eスタート」の実践を心がける。	A	コロナウイルスによる休校措置の影響もあったが、一月当たりの使用量は70.28リットルであり、目標を達成することができた。
				事前にルート確認を綿密に行い、運行ロスを避ける。	A	
				エアコンの使用を控えめにし、車内を冷やしすぎないようにする。	A	
50	学校給食センター	電力の適正使用	A	ノー残業デーの実施を徹底する。	A	概ね達成することができた。
				勤務終了後の早期退庁を奨励する。	B	
				昼休みは可能な範囲で消灯する。	A	
51	生涯学習推進課	電気使用量を昨年度より3%削減する (昨年度使用料133.487kWh)	A	冷暖房の設定温度を夏季は28℃、冬季は19℃を目安に設定し、必要箇所のみ稼働する。	B	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、利用件数が減少したことに伴い、必要箇所のみ点灯したことで昨年度より約18%削減することができた。
				必要箇所のみ点灯する。	A	
				館内照明器具の交換時にLED照明に変更する。	A	
52	図書館	冷暖房を適正に使用する	A	冷暖房の温度設定を、夏季は28℃、冬季は19℃を目安に設定し、温度計により室内の温度管理を行う。	A	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として換気を行った影響により温度管理が難しい状況にあったが、夏期のクールビズや冬期の防寒対策を推奨することで、冷暖房を適正に使用することができた。
53	東部学習センター	冷暖房及び照明を適正に使用する	A	冷暖房の設定温度を適切に管理し、不必要な部屋等の空調はOFFにしておく。	A	
				こまめな消灯を行うとともに、不必要な灯りは消灯しておく。また、照明器具の更新時にLED照明に更新していく。	A	

No.	課・施設	重点目標	目標の達成度	目標達成に向けた手段 (具体的な取組み内容)	取組みの実施状況	備考 (実施状況についての補足やその他に取り組んだことなど)
54	北部公民館	照明や空調の適正利用と省エネ行動の推進	B	館内の照明器具の更新時は、LED照明を活用する。	A	館内の照明器具のうち、大集会室は残りの部分を全てLED照明へ更新した。 新型コロナの感染拡大防止のため、窓等を解放したため、適正な温度の範囲を超える冷暖房運転を行った。 ゴーヤの生育が芳しくない点を、朝顔などで補ったグリーンカーテンを設けて、館内の温度上昇の軽減を図った。
				冷暖房の設定温度を適正に管理する。	B	
				緑のカーテンを設置し、空調負荷の低減に努める。	B	
55	南部公民館	電気使用料の削減	A	利用者に向けて、節電を周知するため啓発ポスターを作成する。	A	
				こまめな消灯を行う。	A	
56	東初富公民館	冷暖房を適切に使用する	B	冷暖房設定温度を夏季は28℃、冬季は19℃を目安に設定します。	C	
				緑のカーテンを設置し、適正な室内温度の管理に取り組みます。	B	
57	文化・スポーツ課	電気使用量の削減	C	体育施設の照明をLEDに更新してCO2削減を図る。	C	トイレに設置された水銀灯を部分的にLED照明に変更。
58	郷土資料館	電気使用量3%削減	B	事務スペースでは、照明スイッチ付近に点灯位置を明示して、必要な個所のみ点灯することを励行する。	B	取組みとしては、概ねできた。 電気使用量が前年比97.42%であったことから、削減目標の3%は下回ってしまった。
				スイッチ付近に節電協力を呼び掛けを張り出しする。	A	
	郷土資料館	冷暖房を適正に使用する	B	冷暖房の設定温度を、夏季は28℃、冬は19℃を目安に設定する。	B	不在の部屋での使用は徹底できた。
				気候や部屋の使用状況を見て不要なエアコンの使用はしない。	A	
				エアコンの使用時間を短くする(来客に合わせてつける、終業30分前に切るなど)。	B	